

## 平成 23 年度 第 1 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 23 年 8 月 12 日(金) 15：00～17：00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：林委員長，中嶋委員，山田委員，碓井委員(スカイプ)，渡邊委員  
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，松本職員
- IV. 議事概要

検討に入る前に，事務局より配布資料について説明あり．主なものとして，今回の検討内容「学士力実現に必要な ICT 活用の授業モデル案作成」のポイントとして，「探求的学習」，「協同的な学習」，「体験活動の重視」，「未知の時代を生き抜く能力」などについて説明があった．また，5 年先のモデル授業案を検討することなどを確認した．

### 1. 検討内容 学士力実現に必要な ICT 活用の授業モデル案のまとめについて

前回の検討後，再検討がなされた以下の 2 点の授業モデル案について，報告がなされた．

- (1) 学士力到達目標 2-②(資料③.1)
- (2) 学士力到達目標 5-①(資料③.2)

これらの報告中あるいは報告後において様々な意見交換が行われた．ここでの議論において，主な意見ならびに確認事項を列挙する．

- ① 「2.1 授業のねらい」と「2.2 授業計画」が最も重要な部分．これらの記述を丁寧に行い，2 頁弱でまとめる．
- ② 「2.1 授業のねらい」に関しては，現状の授業の問題を指摘し，5 年先の理想的な授業を提案することを念頭において記述する．
- ③ 「2.2 授業計画」に関しては，「到達度」から逆引きして考察する．また，関連科目での基礎力が発揮できるよう，教員同士による相互点検についても言及する．学士力の確認(出口管理)の観点から，学習成果の到達度評価方法として口頭試問の導入についても検討する．
- ④ 次回委員会で再度検討したのち，サイバーFD 研究員に授業モデル案を示し，パブリックコメントを得る．このための資料である点を踏まえ，コンセプトを重視して記述する．
- ⑤ 上記授業モデル案について，(1)に関しては，他の科目との関連付けの観点から「統合型授業モデル」，(2)に関しては，協同的な学習の観点から「フォーラム構築授業モデル」というコンセプトも盛り込む．

### 2. 検討課題

8 月末を目途に，上述の(1)と(2)の授業モデル案を 2 名の委員が改訂を担当し，事務局に提出する．これらのモデル案に関して各委員よりレビューを行う(次回委員会開催まで)．

### V. 次回の開催日程

日時：平成 23 年 9 月 15 日(木)，11：30～13：30 を予定  
場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上